

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 藤商事

コード番号 6257 URL <http://www.fujimarukun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 當仲 信秀

TEL 06-6949-0323

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,506	△41.2	426	△94.9	531	△93.7	277	△94.8
27年3月期第3四半期	48,508	38.5	8,324	59.4	8,399	59.0	5,294	54.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	11.36	—
27年3月期第3四半期	217.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	58,624	49,495	84.4
27年3月期	64,694	51,098	79.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 49,495百万円 27年3月期 51,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,600	△20.6	4,000	△49.6	4,100	△48.4	2,600	△46.0	106.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	24,395,500 株	27年3月期	24,395,500 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	24,395,500 株	27年3月期3Q	24,395,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成28年1月29日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済政策などを背景に、企業業績や雇用環境等は改善傾向にあり、景気はおおむね緩やかな回復基調が続きました。

パチンコホール業界におきましては、低貸玉営業での遊技機設置比率が上昇するなか、従来の営業形態での集客や稼働は低迷しております。また、一部の人気シリーズの後継機種稼働は堅調に推移したものの、全体の収益面は伸び悩みを見せており、経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

そのため、遊技機の購入につきましては慎重な姿勢により、安定稼働が見込める機種を選択する傾向にあります。

このような状況のもと当社は、『知恵と工夫』をもってお客様から期待され、稼働する遊技機を創造するため、新ジャンルの確立や独自性の追求などにより、差別化された商品を実現することに取り組んでおります。また、パチンコ・パチスロファンの皆様の魅力を感じる遊技機の提供を通じて、機種ごとの販売計画を着実に達成し、利益を確保できる体制作りを推進しております。

当第3四半期累計期間におきましては、パチンコ遊技機では7タイトル、パチスロ遊技機では1タイトルを市場投入いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高285億6百万円(対前年同期比41.2%減)、営業利益4億26百万円(同94.9%減)、経常利益5億31百万円(同93.7%減)、四半期純利益2億77百万円(同94.8%減)となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

(パチンコ遊技機)

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「CR RAVE~この世界こそが真実だ~」(平成27年10月発売)、「CR怨み屋本舗」(平成27年11月発売)、「CRエキサイト」(平成27年11月発売)を市場投入したほか、前事業年度に発売したシリーズ機種などを追加販売いたしました。

なお、商品開発における取り組みとしましては、「CR地獄少女 弐(ツー)」に次ぐお仕置きシリーズとして、社会風刺をリアルに描いた怨み晴らしの爽快感が味わえる機種「CR怨み屋本舗」を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は71千台(対前年同期比20.6%減)、売上高243億75百万円(同22.5%減)となりました。

(パチスロ遊技機)

パチスロ遊技機では、当第3四半期につきましては新機種の発売はありませんでした。

以上の結果、販売台数は10千台(対前年同期比77.2%減)、売上高41億31百万円(同75.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ60億69百万円減少し、586億24百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が6億57百万円増加したことなどに対し、現金及び預金が87億2百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ44億66百万円減少し、91億29百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が29億37百万円、買掛金が3億90百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ16億2百万円減少し、494億95百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ87億2百万円減少し249億35百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、42億43百万円(前年同期は92億3百万円の資金の増加)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益5億32百万円、減価償却費17億43百万円などが増加の要因であり、法人税等の支払額46億35百万円、未払金の減少額11億62百万円、売上債権の増加額6億57百万円などが減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、32億51百万円(前年同期は24億61百万円の資金の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入1億円などが増加の要因であり、有形固定資産の取得による支出21億1百万円、投資有価証券の取得による支出12億31百万円などが減少の要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、12億8百万円(前年同期は12億17百万円の資金の減少)となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、第4四半期の見通しが明らかになった時点で、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,039	25,336
受取手形及び売掛金	5,108	5,765
有価証券	504	801
商品及び製品	64	181
原材料及び貯蔵品	3,799	3,008
前渡金	2,992	3,271
繰延税金資産	2,760	2,846
その他	231	2,242
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	49,490	43,444
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,750	1,702
機械及び装置(純額)	312	306
工具、器具及び備品(純額)	1,128	1,131
土地	3,207	3,118
その他(純額)	77	185
有形固定資産合計	6,475	6,444
無形固定資産	162	188
投資その他の資産		
投資有価証券	6,503	6,362
長期前払費用	1,368	1,397
その他	1,131	1,221
貸倒引当金	△438	△433
投資その他の資産合計	8,565	8,546
固定資産合計	15,203	15,180
資産合計	64,694	58,624

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,715	5,324
未払法人税等	2,937	—
賞与引当金	558	288
役員賞与引当金	180	—
その他	2,584	2,107
流動負債合計	11,975	7,720
固定負債		
退職給付引当金	792	580
その他	827	828
固定負債合計	1,620	1,408
負債合計	13,596	9,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	43,555	42,613
株主資本合計	50,065	49,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,033	372
評価・換算差額等合計	1,033	372
純資産合計	51,098	49,495
負債純資産合計	64,694	58,624

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	48,508	28,506
売上原価	26,301	15,146
売上総利益	22,207	13,359
販売費及び一般管理費	13,882	12,932
営業利益	8,324	426
営業外収益		
受取配当金	46	59
受取賃貸料	15	16
利用分量配当金	5	16
受取ロイヤリティー	6	4
その他	31	40
営業外収益合計	106	137
営業外費用		
シンジケートローン手数料	26	26
賃貸収入原価	2	3
その他	2	2
営業外費用合計	31	32
経常利益	8,399	531
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産除却損	4	6
固定資産売却損	—	1
特別損失合計	4	7
税引前四半期純利益	8,394	532
法人税、住民税及び事業税	3,793	38
法人税等調整額	△693	216
法人税等合計	3,100	255
四半期純利益	5,294	277

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,394	532
減価償却費	2,070	1,743
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△57	△270
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	△180
退職給付引当金の増減額(△は減少)	88	△211
受取利息及び受取配当金	△63	△77
固定資産売却損益(△は益)	—	△7
固定資産除却損	4	6
売上債権の増減額(△は増加)	△7,820	△657
たな卸資産の増減額(△は増加)	△42	674
前渡金の増減額(△は増加)	603	△279
長期前払費用の増減額(△は増加)	3	△8
仕入債務の増減額(△は減少)	5,353	143
未払金の増減額(△は減少)	1,430	△1,162
その他	420	67
小計	10,293	308
利息及び配当金の受取額	68	83
法人税等の支払額	△1,158	△4,635
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,203	△4,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△101	—
有価証券の償還による収入	900	100
有形固定資産の取得による支出	△1,631	△2,101
有形固定資産の売却による収入	—	100
無形固定資産の取得による支出	△31	△76
投資有価証券の取得による支出	△1,425	△1,231
投資その他の資産の取得による支出	△175	△102
投資その他の資産の回収による収入	4	60
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,461	△3,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,217	△1,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,217	△1,208
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,525	△8,702
現金及び現金同等物の期首残高	26,425	33,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,951	24,935

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。